

1 調査日 令和2年11月5日（木）～6日（金）

## 2 調査の概要

11月5日（木）

### （1）西粟倉村役場（岡山県英田郡西粟倉村）

調査内容：百年の森林事業について

西粟倉村は、総面積 57.97 km<sup>2</sup>でその 93%を森林が占める中山間地域であり、50年間守ってきた森林をもう50年育て、地域経済を活性化しつつ、美しく豊かな100年生の森林を創造しようとする「百年の森林構想」を掲げている。

西粟倉村では、村が個人所有の森林を10年間預かり一括管理を行う「長期施業管理契約」を締結し、集約化施業やFSC認証の取得を進める百年の森林創造事業と、若年世代の移住者が地域で起業した株式会社西粟倉・森の学校が、間伐材を使用した商品開発やマーケティングを行う森の学校事業により、百年の森林構想の実現を目指している。

本県における森林・林業施策の参考とするため、調査を行った。



### （2）株式会社 西粟倉・森の学校（岡山県英田郡西粟倉村）

調査内容：間伐材等の地域資源を活かした商品開発、販売等の取組について

株式会社西粟倉・森の学校は、西粟倉村の間伐材を使用した商品開発やマーケティングを行う村の総合商社で、森林の再生を地域経済の活性化や雇用創出、人材育成へとつなげることを目的として、民間会社、西粟倉村役場、西粟倉村民を株主として平成21年に設立された会社である。

西粟倉村の間伐材を有効活用する新商品の開発や市場開拓に努めるとともに、木工教室や各種のイベントツアーの実施、モデルルームの運営などを行っている。

また、閉鎖されていた工場を借り上げて再稼働させ、数多くの商品を生み出すとともに、西粟倉村の魅力を紹介し、開発した商品を販売するホームページ「ニシアワー」を開設し、販路を拡大。地元雇用の拡大やIターン者の受け皿として、人材の確保、育成も積極的に行っている。

本県における森林・林業施策の参考とするため、調査を行った。



11月6日（金）

（3）智頭町森のようちえん まるたんぼう（鳥取県八頭郡智頭町）

調査内容：自治体と連携した森のようちえんの取組について

森のようちえんとは、森や川など野外のフィールドを活用してのびのびと子供を育む幼児教育、保育である。

智頭町森のようちえん まるたんぼうは、自治会や森の所有者の協力のもと、智頭町内14か所の森や野外施設を拠点に活動している。また、智頭町や鳥取県といった地元自治体と連携し、さまざまな補助金や交付金を活用できており、午後5時頃までの託児サービスや園児バスを運行している。こうしたことから、まるたんぼうで子供を育てるために鳥取県外から智頭町への移住者も多い。

本県においては、自然保育の社会的な認知および信頼性の向上を図り、森林環境学習の裾野を広げるため、「しが自然保育認定制度」などの支援を令和2年度からスタートさせており、今後の参考とするため、調査を行った。



(4) 大江ノ郷自然牧場（鳥取県八頭郡八頭町）

調査内容：6次産業化の取組について

有限会社ひよこカンパニーは、化学薬品を一切使わない飼料を使い、自然な形で地べたで飼育する平飼いをするため、平成6年に八頭町に「大江ノ郷自然牧場」を創業した。健康な鶏から生まれる卵を「天美卵」としてブランド化するとともに、朝採れ卵の通信販売を開始。また、顧客への訴求力のある商品開発と、カフェや農家レストランを開設し、売上高、雇用者数、来店者数ともに大幅に増加している。

本県における6次産業化の参考とするため、同法人の取組について調査を行った。

